

評価計画表・評価方法

(1) 学年 (教科：総合実習)

| 3 学期 | 単元 1 | 単元 2 | | | | | |
|-------------------|---|---|---|--|--|---|---|
| 科目「総合実習」 | 【農場当番】 | 【総合実習紹介】 | | | | | |
| | | 作物科学 (収穫物の利用・作付けの準備) | 動物科学 | 園芸福祉 | 環境緑化 (製図・ロープワーク) | 生物工学 (機器・器具の管理と培地作成) | 食品加工 |
| 知識・技能 | 授業開始時刻を守ること で授業時間が確保でき、 安全な実習につながるこ とを理解できる。 | わら細工の方法と ダイズ選別などの 収穫物の利用、用 土配合などの作付 けの準備について 理解することがで きる。 | 牛や犬等の種類 や体位名称につ いて理解できる。 | 鉢花・花壇用草花 の管理方法につ いて理解できる。 | 製図で用いる線の 種類やロープワー クの技術を身につ けることができ る。 | 授業や実習で使用す る機器や器具類等 の使用の仕方、培地 の作成などについて 理解するとともに、 関連する技術を身 に付けている。 | 食品加工コースの実 習で使用する道具 の名称、使用方法 について実習を通 して理解し、技術 を身につけている。 食品衛生について 知識を身につける。 |
| 思考・判断・表現 | 安全管理を怠った際 におきる危険を思 考でき、正しい服 装で安全に留意し 実習に取り組むこ とができる。 | わら細工を行う理 由や用土配合の効 果を考慮することが できる。 | 牛や犬等の飼養 管理をするため には、何が必要 であるかを考察 することができる。 | 鉢花・花壇用草花 について理解し、 管理や利用につ いて考察するこ とができる。 | 線を区別し、製図 を行うことができる。 また、なぜこの結 び方が必要なのか を考察することが できる。 | 実験実習を通して、 使用した機器の管 理や器具類の洗浄 方法と培地の種類 が実験におよぼす 影響を考察するこ とができる。 | 実習を通して、な ぜその道具を使用 するのか、なぜそ の作業が必要なの かを考察するこ とができる。 |
| 主体的に学習 に取り組む態度 | 農業は、分野が多 く、各々の特徴が 関係し成り立つこ とについて、自ら 学び主体的かつ協 働的に取り組んだ かを農場実習記録 簿を評価の参考と する。 | 単元終了時、取 り組む姿勢や実 習レポートの自 己評価を評価の 参考とする。 | 学習を通して、 取り組む姿勢を プリント等で評 価する。 | 取り組む姿勢や 実習レポートの 自己評価を評価 の参考とする。 | コースでの学習 を通して、取り組 む姿勢や実習レポ ートの自己評価を 評価の参考とする。 | 実験授業の内容につ いて、自ら学び、 主体的かつ協働的 に取り組んでいる。 【評価方法】プリ ントの記入 | 単元終了時、取 り組む姿勢や実 習レポートの自 己評価を評価の 参考とする。 |

評価計画表・評価方法

| 3学期 | 単元3 | 単元4 | 単元5 | 単元6 |
|---------------|---|---|---|---|
| 科目「総合実習」 | 【ハクサイ】 | 【ダイズ】 | 【学校農業クラブ活動】 | 【学校農業クラブ活動】 |
| | ハクサイの加工 | ダイズの加工 | プロジェクト発表 | 課題研究発表会 |
| 知識・技能 | ハクサイの加工方法について理解できる。 | ダイズの加工方法について理解できる。 | 学校農業クラブ活動におけるプロジェクト発表の目的や方法を理解できる。 | |
| 思考・判断・表現 | ハクサイに適した加工方法を思考し、実践できる。 | ダイズの適切な加工方法を思考し、実践することができる。 | 発表用資料や発表練習を通じて、どうすれば聴衆に伝わりやすくなるかを思考し、表現できる。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 単元終了時、授業に記入した実習レポートの記入項目「評価内容」の自己評価を評価の参考とする。 | 単元終了時、授業に記入した実習レポートの記入項目「評価内容」の自己評価を評価の参考とする。 | 単元終了時、授業に記入した実習レポートの記入項目「評価内容」の自己評価を評価の参考とする。 | 課題研究発表会終了時に提出する感想文を評価の参考とする。(1次発表、全体発表) |